



第 11 回へそサポ定例会報告

＜内容＞

1. 自己紹介
2. 先輩(1.2.3.4 期生)から 5 期生へ
5 期生から先輩へ訊ねたいこと
3. へそサポ PR
4. 訪問時の対応について
5. へそサポ Q&A
6. 案件

参加者：18 名



全体進行・松本氏

1. 会長挨拶

百武副会長より、5期生を迎え、これから一緒にがんばりましょう！と、温かいメッセージ。



百武副会長より挨拶

2. 先輩から5期生へ、5期生から先輩へ

* ≪5期生より≫

- ・頼まれても断らないといけないのはどんな場合か？ ⇒ ◎ 薬の購入・時間を超えての支援他
- ・灯油を頼まれた場合は？ ⇒ ◎ 配達の仕事もあり、現在は No !
- ・4のへそサポ Q&A をここで説明。迷ったときはぜひ一読してほしい。これは、モデル事業を経て支援する中で話し合いサポーター自身が決められたルール。注意してほしいこと等紹介し、無理をせず何かあれば事務局へ連絡いただくようお願いする。基本の支援活動は、買物・ゴミ出し、時間は1時間以内、買物の店舗は2店舗まで、月5回までといったことを再確認する。
- ・不安なこと不明なことは、定例会、先輩との活動時、サポートセンター（介護保険係）を利用し、早めに解決！
“無理をしない” できるときに “といった点を 1・2・3・4 期生より繰り返し伝えていただく。



5期生の田中氏・坂井氏・江頭氏（左より）が参加されました。



3. へそサポ PR について

* 1・2月のPR活動 → 1/27 観音下（百武氏・松本氏） 2/13 石原（土井氏・中村氏）にて実施。

4. 訪問時の対応

* 実際の訪問時のやり取りを、百武氏・松本氏にロールプレイで紹介していただく（難聴の方のケース）



訪問時の対応事例

・百武さん、松本さんによる、とても参考になるロールプレイでした(*^^*)(*^^*)

5. 案件について

* T 氏の買物支援 ⇒ 時間内に終わらない。 ⇒ 要因：品数が多い。店舗が2店舗等 T 氏も時間がかかっていることは承知されており、気は使われている。サポーターとしては、現行のまま支援していきたい。
手立て：ケアマネに情報提供行き、本人の意向を確認する。

N 氏 ⇒ 難聴でコミュニケーションが難しい、筆談をしているが聞こうとされない状況がある。やり取りには慣れてこられているが、本人の希望の品と息子氏の情報とのズレが生じてきている。希望される商品の詳細、数を確認したいができない・継続検討

※ 終了後、5期生へへそサポグッズを配布するとともに説明行う。

